

あなたの知らない「私」を伝えます  
～対話を通して言葉の価値を創造する活動を通して～

山梨大学教育学部附属中学校

授業者 若尾 大樹

【キーワード】 「好き」「スピーチ」「話し言葉と書き言葉」「言葉の価値の創造」「Google Workspace」

【授業の概要】

本単元では、自分の好きなことを話題とした、スピーチの発表会を行う。生徒は話し言葉と書き言葉の特徴に着目しながら、自分のスピーチや他者のスピーチを検討したり、聞き比べたりする中で、自分の「好き」が伝わるスピーチの構成や表現について考える。さらに、スピーチを考える際に、「好き」という言葉が内包する多様な意味について考えることを通して、言葉の価値を創造する生徒の育成につなげる。

また、主体的に学習に取り組む態度の育成に関わって、学習計画や学習の過程を可視化できるワークシートを用いる。さらに、スピーチを吟味するための記録や学習計画の検討を行う際に、「Google Workspace」や「ロイロノート」といったICTを活用し、協働的な学びの実現、主体的・対話的で深い学びの実現とその評価につなげる試みとする。

1. 単元の目標

- (1) 音声の働きや仕組みについて、理解を深めること。 [知識及び技能] (1)ア
- (2) 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 [知識及び技能] (1)ウ
- (3) 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。 [思考力、判断力、表現力等] A(1)イ
- (4) 相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] A(1)ウ
- (5) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

2. 本単元における言語活動

紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動。 (関連：[思考力、判断力、表現力等] A(2)ア)

3. 教材名

話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する

(光村図書出版「国語1」)

4. 生徒の実態

山梨大学教育学部附属中学校第1学年は、1クラス35名、生徒140名の学年である。向学心に富み、個人でもグループでも学習課題の解決のため、懸命に活動ができる。入学からこれまで、文学的な文章を扱う単元（「野原はうたう」、「シンシュン」）において、文章に表れるメッセ

ージや作品の特徴を言葉に着目しながら学んでいる。また、説明的な文章を扱う単元（「ダイコンは大きな根?」、「ちょっと立ち止まって」）においては、構成や展開に着目しながら学ぶことを意識している。特に、「シンシュン」では、「けんか」という言葉を「自分の考えを正直に伝えること」と文脈に沿って捉え直す姿が見られたことから、生徒自身が言葉の価値に気づく様子が伺え、読むことにおいて言葉について考えることの有用性を見出していることがわかった。

このことは、NRT検査（2024年4月実施）にも表れ、大領域別集計において、「読むこと」の正答率が高かった一方、「話すこと・聞くこと」の領域が低かった。このことから、言葉の価値を創造する言語活動を設定しながら「話すこと・聞くこと」の力を伸ばすことが課題であるといえる。

また、全体研究における「令和6年度『学びについての調査』（2024年5月実施）では、「活動を行う価値を認め自分のものとして受け入れている状態を表す動機づけ」に優れている反面、「興味や楽しさに基づく従来の動機づけ」に課題があることが分かっている。特に「学習方法を工夫している」かどうかの質問項目では、国語科が他教科と比べ最も低い数値であった。このことから、生徒は学びの中に、学習方法を工夫する方策を自覚的に取り入れ、それが自らの学びを深めているという有用感を持つ必要があると考える。

## 5. 指導の内容と言語活動、教材の関わり

### （1）言語活動設定の意図

本校の全体研究主題「新たな価値を創造する生徒の育成」も3年目を迎え、総括の年になった。国語科においても、教科研究主題「生徒が自ら言葉の価値を創造する授業～対話によって学びを吟味する活動を通して～」の検証を行う。これまでの2年間の研究では、B領域（書くこと）とC領域（読むこと）での授業研究であったことや生徒の実態を踏まえ、事前研究会をA領域「話すこと・聞くこと」の授業を設定する。

本校は、県内の複数の小学校から入学してきた生徒で構成されている。入学から4ヶ月、個性の違いを理解しはじめている中で、人間関係において、仲を深めようとする姿が見られる。これらの実態をふまえて、「好きなことをスピーチで紹介する」活動をゴールとし、自分のことや考えを伝えるために、音声の働きや仕組みをふまえてスピーチの構成や表現を吟味する言語活動を設定する。また、スピーチを考える際に、「好き」という言葉と向き合い、その意味を捉え直していくことで言葉の価値の創造にもつなげていく。

さて、本単元はA領域「話すこと・聞くこと」の中学校最初の単元である。小学校までの既習事項を確認するとともに、自らの学びを可視化する機会を設けることで、3年間の学びの素地をつくる。自己の学習をメタ認知させることだけでなく、計画の立案を通して見通しをもたせ、主体的に学びに向かう姿勢を育むような指導を行う。

### （2）主体的・対話的で深い学びの実現に向けて

- ① 対話を通して、言葉の価値を創造する学習活動
- ② 他者との交流やICT機器の活用を通して、自らの学びを調整する学習活動

### （3）意識させたい「言語意識」

#### 【 5つの言語意識 】

- ・目的意識 自分のもっと知ってもらうために、
- ・相手意識 クラスの仲間に対して、
- ・場面意識 スピーチをする場面で、
- ・方法意識 他者との交流や自らの学びを調整する活動を通して、
- ・評価意識 スピーチの構成や表現を工夫することができたか。

## (4) 全体研究との関わり

## ①全体研究及び教科総論との関わり

- ・「新たな価値を創造する生徒の育成」を明確にした言語活動の設定
- ・生徒が言葉の価値を創造する学習課題の設定
- ・生徒の主体的な学びの促進につながる、自らの学習をメタ認知するためのワークシートの活用（「学びの計画書」）

## ②資質・能力を見取る評価の工夫

- ・ICTを活用した形成的評価と効果的な教師の介入
- ・ICTとワークシートを併用した総括的評価

## ③主体的に学習に取り組む態度の評価

- ・学習課題に対する高い目的意識を持つための言語活動の工夫
- ・学習課題に没頭し、粘り強く学習に取り組む姿を見とるための評価規準の設定

## 6. 指導計画と評価計画（A領域「話すこと・聞くこと」5時間）

## (1) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ((1)ア) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ)	①「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)イ) ②「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	①粘り強く、スピーチの構成や表現を工夫し、学習の見通しをもって自分の好きなことを伝えようとしている。

## (2) 指導と評価の計画

時	主たる学習活動	評価する内容	評価方法
1	○学習の目標と流れについて知る。 ○これまでのスピーチについての学習を想起する。 ○スピーチの例から音声の働きと仕組みについて確認をする。 ○スピーチをよくするための計画を立てる。 ○スピーチの話題を決める。	[知識・技能] ①	ワークシート 観察
2・3 (本時)	○スピーチを録画する。 ○スピーチやスピーチメモを検討する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチの構成について考える。</li> <li>・スピーチの表現について考える。</li> <li>・スピーチの練習を行う。</li> </ul>	[思考・判断・表現] ① [主体的に学習に取り組む態度] ①	観察 ワークシート 動画

4 ・ 5	○スピーチの発表会を行う。 ○仲間のスピーチを聞いて知った言葉を「WORD BANK」に記録する。	[思考・判断・表現] ② [知識・技能] ②	発表 ワークシート WORD BANK
-------------	--	---------------------------	---------------------------

## (3) 単元の流れ

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価の方法
1	○学習のねらいや進め方をつかみ、学習の見直しをもつ。  ○「よいスピーチ」とはどのようなものか、これまでの学習想起し全体で共有する。  ○スピーチの例から音声の働きと仕組みについて確認をする。  ○スピーチの発表会に向けてどんな準備が必要か考え、計画を立てる。  ○仲間の知らない自分の好きなことについて決める。	・自分の好きなことを紹介するスピーチを2分程度で行うことを知らせる。  ・話し方に加え、内容面や表現の工夫に着目させる ・好きなこと自体の魅力を伝えることが目的ではないことを押さえる。  ・スピーチの例を示す。 【1回目】悪い例 【2回目】改善を加えた例 ・書き言葉の特徴にも触れる。  ・「学びの計画書」を作成する。作成にあたっては、交流をしてもよいことを伝える。  ・次回、実際にスピーチを行い録画することからはじめる旨を伝える。	[知識・技能] ① ワークシート ・ここでは、スピーチの例を見て、音声言語の特徴について、ワークシートに記録しているかを確認する。
2	○スピーチを録画する。  ○「学びの計画書」に従い、スピーチやスピーチメモを検討する。	・スピーチの構想をメモに残させる。 ・タブレットではなく、仲間に向けてスピーチするように伝える。  ・ワークシートには、スピーチの構成や要点、話し方の工夫、表現の工夫などを記入させ、読み上げるための原稿にならないように指導する。	

<p>2 ・ 3 (本時)</p>	<p>○「学びの計画書」に従い、スピーチやスピーチメモを検討する。</p> <p>・「好き」という言葉を使わずに、スピーチの表現について考える。</p>	<p>・自分が選んだ好きなことを伝える際に、好きという言葉を使わずに、表現する方法を考えさせる。</p> <p>・前時の教師のモデルのスピーチメモを提示する。</p> <p>・好きは好きでもいろいろな好きがあることに気づかせる。</p>	
<p>【「好き」の言いかえの想定】</p> <p>・大切なもの 例)「手入りを欠かしたことはありません。」</p> <p>・心の支え 例)「明日も頑張ろうと思えます。」「なくてはならない存在です。」</p> <p>・得意 例)「誰にも負けません。」「これからも続けていこうと思います。」</p> <p>・夢中 例)「話しかけられても気づきません。」「その時だけは忘れられます。」</p> <p>・好奇心・探究心 例)「何冊も本を買ってしまいます。」「納得できるまで調べます。」</p> <p>・情熱・爽快感 例)「熱くなれます。」「清々しい気持ちになります。」</p>			
	<p>○選んだ「好きなこと」が相手に分かりやすく伝わるように、どのような話の構成でスピーチをするかを考える。</p> <p>○自分のスピーチの練習動画を撮影する。</p> <p>○動画を確認したり、友達にアドバイスを求めたりしながら、スピーチの構成や表現を吟味し、必要に応じてワークシートのスピーチメモに加筆する。</p>	<p>・生徒が完成したと思っているスピーチメモであっても、構成を入れ替えることで、伝わり方や印象の違いについて吟味させる。</p> <p>・第1コンピュータ室にスピーチを録画できる環境を準備し、1回以上自分のスピーチの練習を動画で撮影することを伝える。</p> <p>・修正する場合は二重線で消し、加筆する場合は赤で書き、思考の過程が残るように指導する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>[思考・判断・表現] ① ワークシート・観察・動画</p> <p>・ここでは、実際のスピーチにおいて、好きなことが伝わるように構成を工夫しているかを確認する。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ① 観察・ワークシート</p> <p>・ここでは、スピーチメモ作成を通して、自分の考えが伝わるようなスピーチとなるように構成や表現を何度も検討しているかを確認する。</p> </div>

<p>4 ・ 5</p>	<p>○スピーチの発表会を行う。 ・35名（1クラス）を2グループに分け、発表会を行う。 ・スピーチ後、自分がどんな構成で行ったか振り返る。</p> <p>○仲間のスピーチを聞いて知った言葉を「WORD BANK」に記録する。</p>	<p>・話し手は、自分の好きなことが分かりやすく伝わるように工夫した構成や表現を意識してスピーチするように心がけるように伝える。 ・聞き手は、スピーチで話される構成と表現の工夫に着目し聞くように伝える。</p>	<div data-bbox="1027 159 1428 551" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現] ② <u>ワークシート・観察・動画</u></p> <p>・ここでは、相手の反応をふまえて、スピーチメモから適切だと考える表現や構成を選んで、スピーチをしているかを確認する。</p> </div> <div data-bbox="1027 622 1428 1008" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>[知識・技能] ② <u>Google スプレッドシート</u></p> <p>・ここでは、スピーチで用いられた工夫された表現を「WORD BANK」に打ち込み、その言葉を用途とともに記録しているかを確認する。</p> </div>
----------------------	---	---	---

7. 本時の展開【3／5時間目】

- (1) 日時・場所 令和6年7月5日（金）5校時 1年2組  
山梨大学教育学部附属中学校 図書室・第1コンピュータ室
- (2) 目標 スピーチの発表会に向けて、スピーチの構成について考えることができる。
- (3) 展開

	学習活動	指導上の留意点	評価について
<p>つ か む</p> <p>5 分</p>	<p>1 「学びの計画書」を見て、本時の進め方について確認する。</p> <div data-bbox="304 1503 1102 1581" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>スピーチの発表会に向けて、スピーチを整えよう。</p> </div>	<p>・前時よりスピーチの検討を行っているが、1回以上自分のスピーチの練習を動画で撮影することを伝える。</p> <p>・学びの計画書を見直した場合は、加筆・修正した箇所を赤で記入させる。</p>	
<p>深 め る</p> <p>40 分</p>	<p>2 スピーチやスピーチメモを検討する。</p> <p>・「好き」という言葉を使わずに、スピーチの表現について考える。</p> <p>・選んだ「好きなこと」が相手に分かりやすく伝わるように、どのような話の構成でスピーチをするかを考える。</p>	<p>・学びの計画書を見直した場合は、加筆・修正した箇所を赤で記入させる。</p> <p>・前時までの学びの計画書とスピーチメモについては、トイとノートで共有できるようにしておく。</p>	<div data-bbox="1193 1765 1434 2040" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>[思考・判断・表現] ① <u>ワークシート・観察・動画</u></p> <p>・ここでは、実際のスピーチにおいて、好きなことが伝わるように構成を工夫しているかを確認する。</p> </div>

	<p>・自分のスピーチの動画を撮影する。</p> <p>3 動画を確認したり,友達にアドバイスを求めたりしながら,スピーチの構成や表現を吟味し,必要に応じてワークシートのスピーチメモに加筆していく。</p>	<p>・発表する場面を想定し,相手の反応をふまえてスピーチができるように,複数の話題や表現をメモするように伝える。</p> <p>・修正する場合は二重線で消し,加筆する場合は赤で書き,思考の過程が残るように指導する。</p>	<p>[主体的に学習に取り組む態度] ①</p> <p>観察・ワークシート</p> <p>・ここでは,スピーチメモ作成を通して,自分の考えが伝わるようなスピーチとなるように構成や表現を何度も検討しているかを確認する。</p>
<p>振り返る 5分</p>	<p>5 振り返りを書く</p>	<p>・どんな反応の場合にどんな構成や表現をするかを考え,次回からの発表会につながるような振り返りを行わせる。</p>	